

ヨシの活用～ヨシと湖国の人々の生活のつながりを見つける～

①スライド資料を通して、ヨシの概要や役割について知る。

パネルやスライド資料「ヨシってこんなに素晴らしい（導入）」の活用

- ・ヨシについて（概要）
- ・ヨシの役割

ヨシの水質浄化作用

生き物のすみか

人間の生活に役立つ

- ・季節によるヨシの移り変わり

②ヨシを使った様々な工作や活動に取り組む。



③スライド資料を通して、ヨシと人々の生活とのつながりを見つける。

スライド資料「ヨシってこんなに素晴らしい（まとめ）」
→様々な生活道具にヨシが利用されていることを紹介する。

問題 どうしてヨシを刈り取ったり、焼いたりするのだろうか。刈り取ったヨシは何に使うのだろうか。

予想 すだれにヨシが使われている。飾りとして活用されている。

体験 ヨシペンで絵を描く、ヨシ笛をつくる、ヨシ編み機でよしずを編むなどの体験を通して、実物にふれ、硬さを感じたり、利便性に気付いたりする。

結果 ヨシペン、ヨシ紙、よし笛やヒンメリなど生活道具にヨシを利用しているものや、葦簀（よしず）や屋根など生活の一部に利用しているものがある。

まとめ ヨシは人々の暮らしに深くかかわっている。生活の中でヨシを「守る 育てる 活用する」ことが大切である。

つながり ラムサール条約・湖国の暮らし・水質



ヨシの活用 ～ヨシペンで絵を描こう～



事前準備

- ☆ヨシは太くて固いものを選び、15～20cm ぐらいの長さ
- ☆インクボトルを作っておく。(透明ケースに絵の具を入れる。)

準備物

乗船校準備物…絵の具(黒×2本)・ヨシ
FS備品…カッターナイフ・工作マット
透明ケース・テーブルクロス

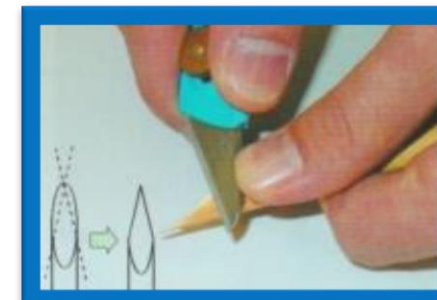
作品例



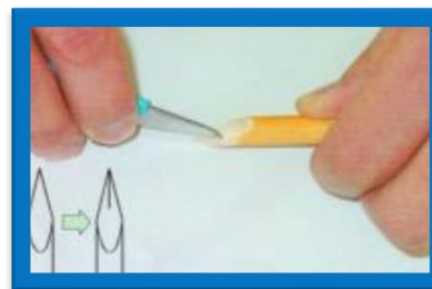
作り方



①片方の先をカッターで少しずつえぐるようにカーブをつけてけずる。



②サイドをけずって先をとがらせる。



③先端(せんたん)に数ミリの切れこみを入れる。



④先をもう一度けずって整えて、完成!

指導上の留意点

- ※カッターナイフの取り扱いには十分に注意する。
- ※削った先を人に向けないように注意する。

ヨシの活用 ～ヨシ笛をつくろう～



事前準備

☆ヨシは太くて固いものを選び、節のない部分を15～20cmぐらいの長さに切っておく。

準備物

<乗船校準備物>

・ヨシ(太い部分) ・リード用シート
・マジックペン セロハンテープ

<FS備品>

・カッターナイフ ・はさみ ・工作マット

指導上の留意点

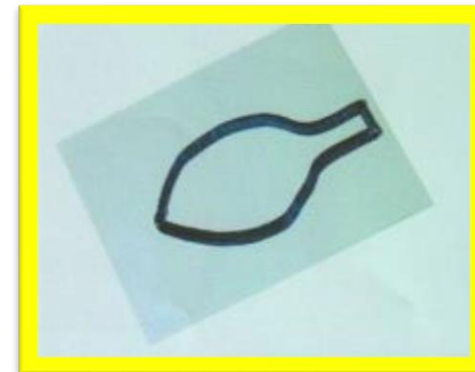
※カッターナイフの使用時は、取り扱いに十分注意する。(児童の実態に応じて、はさみを使用する。)

※リード用シートの貼りしろあたりまで軽くくわえると音が鳴りやすい。

作り方



①ヨシの片方の先をカッターナイフで少しずつ斜めにけずる。
※少々ヨシが割れても鳴る。
※手を切らないように気をつける。



②切り口にシートを当て、切り口の形に合わせてマジックでなぞり、切る。



③シートが反らないように気をつけて、貼りしろの部分にセロハンテープで固定する。



④完成!
吹き口の反対側に穴をあけて、飾りひもを通してよい。

ヨシの活用 ～ヨシ舟を浮かべよう～



事前準備

☆ヨシ舟一隻あたり直径20～30cmの束のヨシ(穂に近い部分)を用意し、穂の部分を取り取っておく。
(写真は長さ約1mのヨシを使用)

準備物

乗船校準備物…ヨシ(穂に近い部分) 麻ひも布(帆を作る場合)
FS備品…はさみ

作り方



①直径5cmの束に分ける。
(この束を4～6束作る。)



②左右にずらし、中央部分が太く、端が細くなるようにする。



③束の中央から順に麻ひもで強くしばっていく。(5～6か所)



④できた束同士を舟の形になるようにしぼる。(長さ約20cm、直径約5cmの束を2～3束作り、船の中に梁(はり)として入れる。)



⑤端を強くしばって、穂をつけて完成。(帆柱もヨシで作る。)

児童作品例



⑥2日目の寄港地活動でびわ湖にヨシ舟を浮かべてみる。